



「年度末を迎えて」

園長 柿沼 敦子

平昌冬季五輪では、各国の選手が活躍しました。日本のメダル数も過去最多となりました。園児も映像から刺激を受け、スキーやスケート、カーリング、ホッケーなどを遊びにして楽しむ姿がみられました。選手の活躍は素晴らしく、また、選手同士やスタッフ、家族との絆に感動がありました。五輪を目指し過酷な練習を継続し、それを支える方々の日々の積み重ねの結果であり、勝敗に関わらず胸を打たれました。

さて、幼稚園教育要領が改訂され、4月から施行されます。幼児教育において育みたい「資質・能力」が整理され、その3つの柱は「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性」です。これらは遊びや生活の中で豊かな体験を通して育んでいくものであり、かねてより高輪幼稚園で取り組んできたことにも通じます。

年長すみれ組24名は3月15日に修了式を迎えます。園生活では、日々環境を整え、子どもたちの「やってみたい」という気持ちからの主体的な遊びを大事にしてきました。やりたいことを繰り返し遊ぶ中で「集中力」を身に付け、「思考、追求のおもしろさ」「自分の思いを表現する喜び」「挑戦する楽しさ」「自分たちで一緒に考えて行動する充実感」を存分に味わいました。友だちと一緒に活動する楽しさを感じ、相手への思いやりの心が育ちました。小学生や中学生に優しくされた体験は、年中児、年少児への優しい気持ちを育みました。園生活の充実している様子は、運動会や発表会、その他の行事に取り組む表情からも読み取っていただけたことでしょうか。胸を張って幼稚園を巣立ち、堂々たる1年生が誕生します。年中うめ・もも組、年少うさぎ組は、進級することに期待が膨らんでいます。こちらも幼稚園修了につながる大切な日々の遊び（学び）を経て大きく成長しています。

一人ひとりの育ちを支えていただいた“おさな子の幸い祈る（高輪幼稚園PTAの歌より）”保護者の皆様、毎日「早起き、早寝、朝ごはん」を基本とした生活習慣を支え、雨の日、暑い日、寒い日の送り迎えやお弁当づくりなどありがとうございました。また、高輪幼稚園を支え応援して下さった地域の皆様にも心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

平昌オリンピックごっこ



おひなさま製作

年長



年中

年少

